

第5回パラ・パワーリフティング チャレンジカップ京都
PCR 検査・抗原検査の実施等について

1 本大会における検査等の実施について

(1) 抗原検査の実施

- 当日会場に来場する全員が抗原検査を実施すること。
- 原則として、自宅を出発する前に抗原検査を実施し、陰性確認後に出発すること。
 - ・大会当日、自家用車等で会場に向かう場合
→当日の自宅出発前に検査を実施
 - ・ホテルに宿泊し、ホテルから会場に向かう場合
→前日（または前々日）の自宅出発前に検査を実施
- 自宅等での検査後、検査結果の写真をスマートフォン等で撮影し、会場入口の受付において写真を提示すること。
- 検査の結果、陽性が確認された場合は、自宅等に待機し、②病院への連絡を行い、以後の必要な対応を行うこと。

○万が一、出発前の検査実施が困難な場合は、自家用車で帰宅することができる場合に限り、会場入口前での検査実施を認める。その場合、検査結果が確認されるまでの間、他の方との接触は極力控えることとし、陽性が確認された場合は、直ちに自家用車で自宅まで帰宅した後、②病院への連絡を行い、以後の必要な対応を行うこと。

※抗原検査の結果、明確に陰性と御自分で判断できない場合等、相談が必要な場合には、連盟理事長又は医学委員長に相談してください。連盟、スポーツドクターで協議の上、参加可否を連盟から通達します。

(2) PCR 検査の実施

- 上記(1)の対応に加えて、コーチ・大会役員等のパラ・パワーリフティング連盟関係者、選手のうち、以下に該当する方は、試合当日の3～4日前にPCR検査を実施すること。
 - ①令和4年4月1日時点で、2回目の接種から6ヶ月以上が経過しており、かつ、3回目のワクチン接種を完了していない方
 - ②令和4年4月1日時点で、ワクチン未接種の方

(参考) 自主的な検査により陽性が確認された場合の対応

以下、京都府新型コロナウイルス感染症対策担当部局に確認

①自主的な検査（PCRまたは抗原）により陽性が発覚

②自治体HPに記載の病院に連絡し、受診・PCR検査を実施

京都府：https://www.pref.kyoto.jp/kentai/corona/shinryo_kensa.html

※陽性が確認された方が公共交通機関を使用するべきでは無いため、移動せずに待機する、または自家用車など他者との接触を避けて移動すること

③病院での検査により陽性であった場合は、保健所からの指導を受ける

⇒府内の病院で検査した場合、京都府・京都市の管轄保健所から、居住地の保健所にも連絡がなされ、「府内の宿泊療養施設への入所」、「地元の施設への入所」、「自宅待機」等の指導

なお、病院での検査結果が出るまでは1日～数日を要するが、その間、公共交通機関は使用しないこと。「府内（ホテル等）で待機」、「自家用車で地元へ移動」、「御家族が迎えに来る」などいずれかで対応

※御家族の迎えについて、濃厚接触の基準は、感染の可能性のある期間（症状が出る2日前から入院等になるまでの期間）に接触し、

- ・患者と同居あるいは長時間の接触（車内・航空機内等を含む）があった者
 - ・適切な感染防護（マスクの着用等）なしに患者を診察、看護もしくは介護をした者
 - ・患者の気道分泌液もしくは体液などの汚染物に直接触れた可能性のある者
- その他：手で触れることのできる距離（1メートル）で、必要な感染予防策なしで患者と15分以上の接触のあった者

の範囲に該当する方が濃厚接触者と定義されており、マスクを着用して換気して同乗される分には濃厚接触とならないが、同居家族の場合には、既に濃厚接触者の定義に該当している場合がある。そのため、御家族がお迎えに来る場合は、どこにも立ち寄りず帰宅してもらうことを願います。



会場入口前で検査を行った場合で、陽性が確認された方について、自家用車で来場している場合を除き、帰宅が困難

〔 タクシー：公共交通機関であり、府として非推奨
社用車、公用車：他の従業員が利用するものであり、非推奨 〕